

一つでもがんばれることを

3学期終業式(3月13日)校長講話

1月7日の七草の日に3学期が始まってから、1月は行ってしまい、2月は逃げていってしまい、そして3月はあっという間に去っていってしまいますね。そして、明日の卒業式で、3学期の45日間が終わり、令和7年度の附属松本小学校の活動も締めくくりとなります。皆さんはこの1年でどんなことを頑張ってきましたか。そして、どんなことができるようになったのでしょうか。



この後、担任の先生から渡していただく通知表を見ながら、この1年間の自分の成長を振り返ってみてください。

この写真は幼稚園で年長さくら組のお友達が野球をやっているところです。今、ワールドベースボールクラシックが開催されていますが、きっとこの野球をやっている年長さんも大谷翔平選手のような上手に野球のできる選手にあこがれて野球を楽しんでいるのかな、とも思います。だいぶ長い間幼稚園で野球遊びを続けてきているので、これが結構上手に打ったり投げたりできるんです。4月に小学校に入学してきたら、ぜひ野球遊びを一緒にしてあげてほしいなと思います。よろしくお願いします。

2学期の終業式でお話した、竹の節の話、おぼえていますか？竹のように強くてしなやかな自分にできるように、節目を大切にしてくださいという話でした。今、1年生の皆さんが3学期を振り返って頑張ったことを発表してくれました。どうすればうまくいくか考えてとか、絵をじょうずにかくにはどうするかなど、このようなことがすべて、1年生がこの1年間で作った強くてじょうぶな節です。3学期も入れて、この1年間、それぞれに自分なりに頑張ってきたことで、今

節目を大切にしてください



竹のように強くてしなやかな自分にしよう!

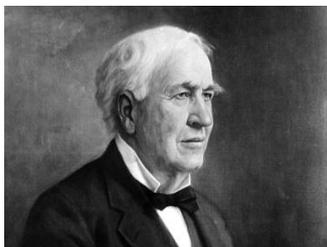
までできなかったことや苦手だったことが少しずつでもできるようになってきたことがあって、自分が力を伸ばしてくることができたうれしさが伝わってくる発表でした。他の学年の皆さんも同じように感じていることがあるのではないのでしょうか。

それが自分でつくった大切な節になります。その節を大切にしてください、自信をもって、次の学年でまたさらに新しい節を作ってください。楽しみにしています。

人間は最初から何でもできる人なんていません。いきなり赤ちゃんの時から何でも完璧にできる人がいたら困りますよね。校長先生だって、他の先生方だって、最初はできることは少なくて、だんだん皆さんと同じように少しずつ色々な事ができるようになってきました。だから、この1年で皆さんができてきたこと、得意になったこと、頑張れたこと、もっとやってみたいことの節を、一つでいいので自信をもってその力をどんどん伸ばしていってほしいと思います。他のことはうまくできないところが多いという人もいるかもしれないけれど、この風呂敷のように、一つでも引っ張りあげれば、他の事も一緒になって上に上がってまた新しい節がいくつも出来るようになってくるはずですよ。だから安心して今できることや得意なことをどんどん頑張ってみてください。



今話した事にもつながりますが、リフレーミングという技、知ってますか？きつと一つでも自分で頑張れる一つのことをのばせば、ほかのことものびてくることに自信を付ければ、気持ちも前向きになって、短所を長所に変えて考えることも得意になってくるはずですよ。アメリカの有名な発明家トーマス・エジソンは、リフレーミングの天才です。「私は失敗したことがない。ただ、一万通りのうまくいかない方法を見つけただけだ」といって、いろいろ失敗を繰り返す中で、沢山のことに挑戦して、新しい発明が生まれました。白熱電球も、光を出す部分には、いろいろ試した結果、世界中から竹を集めた中で日本の京都から取り寄せた竹が丁度良いことを発見したのです。電球の光る部分をフィラメントというのですが、それにちょうどいいと思う材料をいろいろ試して、時には友達のひげまで使って挑戦して、失敗を繰り返したそうです。こういうたくさんの挑戦をしなければ失敗も成功もなかったと思うと、やっぱり自分でこれだ！と思うことは思い切って挑戦することが大事ですね。今までにできるようになったり得意になったりしたことをもとに、4月から新しい学年になったら、自分でどんなことに挑戦するかこの春休みのうちに考えておいてくださいね。



トーマス・エジソン
(アメリカの有名な発明家)



私は失敗（しっぱい）したことがない。
ただ、一万通りの、うまくいかない方法を見つけただけだ。
成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである

さて、来週の月曜日は卒業式です。卒業する6年生のこれまでの頑張りをたたえ、感謝の気持ちを持ち、新たな出発をお祝いする式です。同時に1年生から5年生も一つずつ学年が上がる節目の行事です。この1年間で心も体も大きくなった姿を見せる場になります。そして、この間の6年生を送る会でも、6年生にたくさんのありがとうを伝えましたが、心からの「ありがとう」の気持ちを伝える最後の時間になります。歌声、姿勢、礼やお辞儀、全身でありがとうの気持ちを伝えましょう。これで終わります。